

(一社) 神奈川県火薬類保安協会の沿革

昭和36年	4月	任意団体として神奈川県火薬類保安協会が発足 初代会長 青木 勝 就任。
昭和37年	4月	2代会長 三枝啓三 就任
昭和38年	4月	3代会長 満尾貞弘 就任
昭和40年	4月	4代会長 三枝啓三 就任
昭和42年	4月	5代会長 満尾貞弘 就任
昭和43年	4月	6代会長 小川利次 就任
昭和45年	4月	7代会長 太田丑五郎 就任
昭和48年	5月	8代会長 見上 保 就任
昭和50年	5月	9代会長 加藤一郎 就任
昭和50年	7月	社団法人全国火薬類保安協会 ^(*) (以下「全火協」という。)の保安手帳制度開始に伴い、保安教育講習及び保安手帳交付事務を開始 併せて登録講師の登録を開始
昭和51年	2月	事務所設置場所は、会長所属事業所内の移転を繰り返していたが、横浜市中区山下町1番地 シルクセンター内に移転
昭和52年	12月	社団法人神奈川県火薬類保安協会として認可
昭和62年	8月	火薬類保安責任者国家試験事務を神奈川県が委託した指定試験機関(全火協)の神奈川県試験事務所として実施開始
平成11年	5月	10代会長 見上 攻 就任
平成12年	5月	事務所を横浜市神奈川区東神奈川一丁目8番4号へ移転
平成23年	7月	事務所を横浜市中区弁天通三丁目39番地406号へ移転
平成25年	4月	一般社団法人神奈川県火薬類保安協会として認可

(*) 現：公益社団法人 全国火薬類保安協会